

平成 27 年 第 2 回定例会一般質問通告書

第 2 回定例会一般質問が、6 月 23 日から 6 月 24 日まで次のとおり行われます。

【6 月 23 日（火）】

順	通告議員	質問事項	要 旨
1	1 番 谷 口 隆 徳 (無 会 派) 【一問一答方式】	1 鳥獣処理施設建設等の推進状況について	(1) 処理施設及び方法などの進捗状況は
		2 水素社会実現に向けての取り組みについて	(1) 本市における再生エネルギーの取り組みと現状 (2) 水素エネルギー社会への取り組み (3) 企業誘致及び水素社会実現への都市宣言は
		3 橋梁の補修保全対策と周辺整備について	(1) 長寿命化修繕計画について (2) 朝日橋周辺整備について
2	5 番 渡 辺 英 次 (みらいクラブ) 【一問一答方式】	1 福島県川内村支援事業について	(1) 「支援」から「交流」も視野に入れては
		2 合葬墓について	(1) 市民への意見募集の結果は (2) 寺院等関係者との協議は (3) 無縁墓との区別の考え方は (4) 現在想定している合葬墓の形態は (5) 利用に対しての考え方は
		3 性同一性障害について	(1) 昨年実施された、初の学校における状況調査について (2) 本年度通達された学校での対応について (3) 子どもの権利条例の改正は (4) 不要な「男女表記」「男女記入欄」の対応は (5) 勉強会の開催を

順	通告議員	質問事項	要旨
3	7番 松ヶ平 哲幸 (無所属グループ) 【一問一答方式】	1 マイナンバー制度について	(1) 行政の役割と対応準備は
		2 改正道路交通法の施行について	(1) 自転車事故の実態について (2) 自転車の運転ルールと罰則強化の周知
		3 市職員の離職者について	(1) 早期退職者の実態は (2) 再任用の現状について (3) ストレスチェック制度の実施は
4	6番 谷 守 (公生クラブ) 【一括方式】	1. 士別市公営住宅等長寿命化計画について 2. 士別市奨学金制度について	(1) 現状把握、分析と本市の考え方は (1) 現状課題と今後の取り組みは
5	14番 井上 久嗣 (みらいクラブ) 【一問一答方式】	1 地方創生について	(1) 総合戦略の策定について (2) 創業支援への取り組みは
		2 国・道補助金等減額と公共事業への影響について	(1) 現状と影響は (2) 今後の見通しと対策は
		3 士別市国民健康保険事業について	(1) 18年度までの対応は (2) 運営主体が道へ移管した場合の影響は
		4 空き家対策について	(1) 空き家対策特別措置法への対応について (2) 空き家条例について (3) 看板等危険箇所の点検・対策は

【6月24日（水）】

順	通告議員	質問事項	要 旨
6	2 番 喜 多 武 彦 (無所属グループ) 【一問一答方式】	1 ふるさと納税の分析と活用について	(1)本市に寄せられた平成20年からの寄付額と件数 (2) 寄付者が本市に寄せていただいた理由 (3) 寄付者の居住地や年齢、本市との関係性の有無 (4) 寄付額と返礼品の関係などの分析
		2 中小企業の振興と魅力の発信について	(1)本市の「中小企業振興条例」に基づく助成事業の活用状況 (2) 「地方版総合戦略」策定にあたり中小企業者の意見はどのように取り入れていくつもりなのか (3) 「産官学金労言」などで構成する推進組織の有無もしくは今後の展望は
		3 食育教育について	(1)教育現場における食に対する教育の現状、学校給食における地場産品の利用状況
7	3 番 大 西 陽 (無所属グループ) 【一問一答方式】	1 行政組織について	(1) 係制に近い組織とスタッフ制機能との比較検討の経過と今後の考え方について (2) ワンストップ行政サービスと宅配行政サービスの実施状況と市民の認知度をどう捉えているのか
		2 マイナンバー制度について	(1) 個人情報の漏洩防止対策は (2) 民間事業者における取扱いは (3) 市民への周知の方法は
		3 士別市山崎賞について	(1) 表彰制度施行以来、今日まで該当者が極めて少ない状況についての思いは (2) 士別市農業顕彰制度との関係について検討すべきでは

順	通告議員	質問事項	要旨
8	16番 齊藤昇 (日本共産党) 【一問一答方式】	1 地方創生総合戦略策定について	(1) 戦略についての方向性と総合計画の関係について (2) 人口ビジョン策定の方向性について
		2 マイナンバー制度について	(1) 制度への対応や取り組みは (2) 想定される利用範囲は
9	13番 国忠崇史 (無党派) 【一問一答方式】	1 戦後70年にあたって市の関連施策は	(1) これまでの取り組みは (2) 戦争の実態について、イメージしやすいあり方とは
		2 路線バスの乗客を増やすには	(1) 小中学生への運賃半額補助事業の実績は (2) 「温根別スクール線」休日運行の件 (3) 自転車とバス利用との関係について（観光・健康づくり等）